
普及台数

2021年（令和3年）版



目次



目次	
概況	1
自販機普及台数	2
機種別普及状況	3
年別普及台数	3

概 況

2021 年末の自販機及び自動サービス機の普及台数は、対前年比 99%の 400 万 3,600 台となりました。

台数占拠率が最も高い飲料自販機は、全体の約 56.3%に相当する 225 万 4,400 台となり、1.3%の減少となりました。主な要因としては、夏場の長雨やコロナ禍で悪化した需要の回復が遅れたため、飲料メーカーや管理運営業者が投資を控えたことによる新規出荷の鈍化が挙げられます。ただし、人手不足の影響で不採算拠点の撤去が滞ったことなどから普及台数の減少幅が抑えられた格好となりました。

券類自販機についても、乗車券券売機が IC カード利用者の増加によるチャージ機能及び長距離切符・定期券販売機能を搭載するなど、高機能化に伴い台数が集約されたことや利用客減による収益悪化を受けて、鉄道事業者が新規購入を控えたため、対前年比 99.3%の微減となりました。一方、食券自販機については、電子部品等の不足による影響で在庫不足となり、需給の逼迫があるものの飲食店における非対面決済ニーズの高まりが、出荷台数を押し上げる結果となり、対前年比 103%の増加となりました。

また、時間や場所等を提供する自動サービス機では、ロッカーや自動精算機で導入が一巡したことや G o T o トラベル事業の一時停止、東京オリンピック・パラリンピック 2020 で期待されたインバウンド市場の回復が望めず、利用客が減少したことから、新規・置き換えともに出荷が微減となり、対前年比 99.8%となりました。

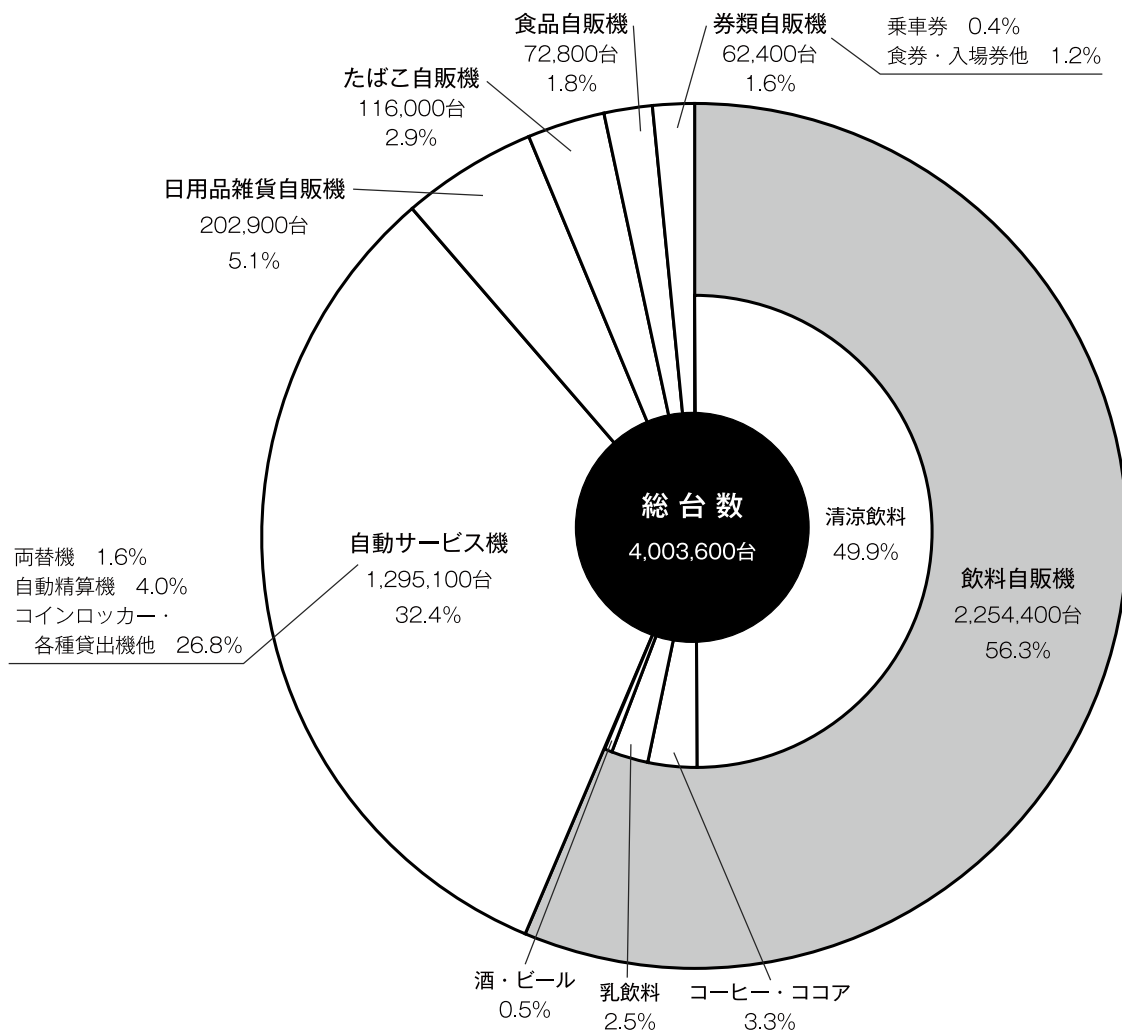
自販機普及台数

2021年12月末現在

機 種	中 身 商 品 例	普及台数 (台)	前年比 (%)
飲 料 自 動 販 売 機	清涼飲料 (缶ボトル)	1,999,000	99.0
	乳飲料 (紙パック)	101,000	95.3
	コーヒー・ココア (カップ)	134,000	97.8
	酒・ビール	20,400	94.4
飲 料 小 計		2,254,400	98.7
食 品 自 動 販 売 機	インスタント麺・冷凍食品・ アイスクリーム・菓子他	72,800	104.0
た ば こ 自 動 販 売 機	たばこ	116,000	94.3
券 類 自 動 販 売 機	乗車券	14,400	99.3
	食券・入場券他	48,000	103.0
券 類 小 計		62,400	102.1
日 用 品 雑 貨 自 動 販 売 機	カード、衛生用品、新聞、玩具他	202,900	97.1
自 動 販 売 機 合 計		2,708,000	98.6
自 動 サ ー ビ ス 機	両替機	64,100	99.5
	自動精算機 (駐車場・ホテル・病院他)	159,800	98.8
	その他 (コインロッカー・各種貸出機他)	1,071,200	99.9
自 動 サ ー ビ ス 機 小 計		1,295,100	99.8
合 計		4,003,600	99.0

機種別普及状況

2021年12月末現在



年別普及台数

年	普及台数 (台)	前年比 (%)
2010 (平成 22)	5,206,850	99.8
2011 (平成 23)	5,084,340	97.6
2012 (平成 24)	5,092,730	100.2
2013 (平成 25)	5,094,000	100.0
2014 (平成 26)	5,035,600	98.9
2015 (平成 27)	5,001,700	99.3
2016 (平成 28)	4,941,400	98.8
2017 (平成 29)	4,271,400	86.4
2018 (平成 30)	4,235,100	99.2
2019 (令和 1)	4,149,100	98.0
2020 (令和 2)	4,045,800	97.5
2021 (令和 3)	4,003,600	99.0

※ 2017年の台数減については「日用品雑貨自動販売機」の統計機種再考による。

普及台数

2022年4月発行



一般社団法人

日本自動販売システム機械工業会

Japan Vending System Manufacturers Association

〒162-0843 東京都新宿区市谷田町 2-7-15 市ヶ谷クロスプレイス3階

TEL. 03(5579)8131 FAX. 03(5579)8137